

本稿は、バンク・オブ・アメリカが2015年7月14日に発表した英文プレスリリースを翻訳したものです。英文の原文と翻訳内容に齟齬がある場合には原文が優先します。なお、英文プレスリリースは、バンク・オブ・アメリカのニュースルーム <http://new.sroom.bankofamerica.com> でご覧いただけます。日本に関連する調査結果については、弊社日本チーフ株式ストラテジスト 阿部健児のレポートを併せてご参照ください。

平成 27 年 7 月 15 日

報道関係者お問い合わせ先：
メリルリンチ日本証券 広報部
03 6225 7550

**BofAメリルリンチファンドマネジャー調査：
中国への自信が低下する中でキャッシュ比率を引き上げる投資家
FRBの利上げ開始時期の予想は第4四半期に後ずれ**

[ニューヨーク、2015年7月14日] バンクオブアメリカ・メリルリンチが発表した7月のファンドマネジャー調査によれば、グローバル投資家は世界経済、特に中国経済の見通しの弱まりを受け、キャッシュ比率を大幅に高めています。しかし、全体的な株式の配分にリスク回避の強まりの影響は見られません。

- 世界経済への自信が急激に低下：世界経済は今後1年間に「強まる」と予想する投資家は42%と、1ヵ月前の55%から減少。
- 最大の懸念材料は中国：差し引き62%が中国経済は今後12ヵ月間に弱まると予想。10人中8人が2018年までにはGDP成長率が6%を下回ると予想。
- キャッシュ比率は5.5%と2008年の危機以来の高水準に急上昇—金は5年ぶりに「過小評価」との判断。
- 中国に対する悲観論の強まりを背景に中国関連資産が一段と低迷：コモディティの配分が6ヵ月ぶりの低水準。グローバル新興国株は配分が16ヵ月ぶりの低水準を記録し、引き続き最も不人気の地域。
- 債券は「過大評価」との見方が株式に比べて格段に強く、ボラティリティを要因とする急落リスクがより強い。株式の「オーバーウエート」は差し引き42%に増加。
- 6月の調査では2015年第3四半期との見方が大勢だった米国の利上げ開始時期の予想が第4四半期以降に後ずれしたものの、米ドルへの強気が強まる。
- ユーロ圏崩壊の可能性が最大の「テール・リスク」に浮上したものの、欧州株を「オーバーウエート」にする意欲が高まる。

BofAメリルリンチ・グローバルリサーチのチーフ・ストラテジスト、Michael Hartnettは、「リスク回避の強まりとキャッシュ比率上昇の行き過ぎ感は第3四半期のリスク資産の逆張り買いシグナルとなっている」と述べています。

欧州株ストラテジスト、Manish Kabraは次のように述べています。「ギリシャ問題に関するニュースが続いているにもかかわらず、欧州資産の保有意欲は強く、かつ、さらに強まりつつある。但し、欧州株のカギを握るのは世界景気という状況に変わりはない。」

BofA メリルリンチファンドマネジャー調査

7月調査は7月2日から9日までの期間に実施されました。全体で191人の機関投資家が参加し、これらの機関投資家の運用資産総額は5,100億ドルに達します。その中でグローバルな質問に回答した機関投資家は90人で、運用資産総額は3,990億ドル。特定地域の質問に回答した機関投資家は90人、その運用資産総額は1,960億ドルでした。調査はBofAメリルリンチ・リサーチが市場調査会社のTNSの協力の下に実施しました。TNSは50カ国以上を網羅する自社の国際ネットワークを通じ、80カ国以上で国内・国際組織にマーケット情報を提供している世界第4位のマーケット情報グループです。

BofA メリルリンチ・グローバルリサーチ

BofAメリルリンチ・グローバルリサーチは世界の約3,400銘柄を超える株式と約1,200銘柄超のクレジットを調査対象とし、多くの機関によるランキングで上位に選出されています。直近では、インスティテューショナル・インベスター誌の2014年世界の調査部門第1位、2015年All-Europe Fixed Income調査で第1位、2014年All-Europe調査で第1位、2015年欧州・中東アジア新興国調査で第1位、2015年All-Asia調査で第2位、2014年のAll-America調査で第2位に選ばれました。また、同誌の2015年のAll-China調査で第2位、2014年のAll-America Fixed Income調査で3年連続の第2位となりました。

バンク・オブ・アメリカについて

バンク・オブ・アメリカは世界トップクラスの金融機関の一つであり、個人、中小企業、機関投資家、大企業及び政府を顧客とし、銀行業務、投資業務、資産運用業務、その他の財務管理及びリスク管理のための商品やサービスを幅広く提供しています。米国では、約4,800店のリテール銀行支店、約15,900台のATM、また現在3,100万人のユーザーが利用し、受賞歴もあるオンライン・バンキング、1,700万人以上が利用するモバイル・バンキングを通じ、約4,800万の個人や小規模企業の顧客と取引を行っています。バンク・オブ・アメリカは世界有数のウェルス・マネジメント会社であるとともに、企業金融、投資銀行、広範な資産クラスにわたるトレーディングにおいても世界的なリーダーであり、世界中の企業、政府、機関、個人などにサービスを提供しています。同社は、革新的でありながら利用しやすいオンラインの商品やサービスにより、約300万人の小規模事業主の顧客に対して業界有数のサポートを提供しています。バンク・オブ・アメリカは、50州すべて、コロンビア特別区、米国領ヴァージン諸島、プエルトリコ、および35カ国以上で顧客事業を展開しています。バンク・オブ・アメリカ・コーポレーションの株式(取引略号:BAC)はニューヨーク証券取引所に上場されています。

バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンク・オブ・アメリカ・コーポレーションがグローバル・バンキング及びグローバル・マーケット事業を行うための営業上のブランド・ネームです。貸出、デリバティブなどの商業銀行活動は、バンク・オブ・アメリカ・コーポレーションのバンキング関連会社が実施しています。これには、FDIC加盟銀行のバンク・オブ・アメリカ・エヌ・エイが含まれます。証券、財務アドバイザーなどの投資銀行活動は、バンク・オブ・アメリカ・コーポレーションの投資銀行関連会社(投資銀行関連会社)が実施しています。これには、メリルリンチ・ピアース・フェナー・アンド・スミス・インコーポレーテッドが含まれ、これらはFINRA(米国金融取引業規制機構)及びSIPC(米国証券投資者保護公社)加盟の登録ブローカーディーラーです。投資銀行関連会社が提供する投資商品はFDICの保険対象ではなく、損失が生じることがあり、銀行による保証はありません。

バンク・オブ・アメリカのさらなるニュースについては、バンク・オブ・アメリカのニュースルーム(<http://newsroom.bankofamerica.com>)をご覧ください。

www.bankofamerica.com